



大高インフォメーション ホップステップ

<https://www.news.ed.jp/omura-h/>

JUMP!

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原 1-591 TEL.0957(52)2660



「ネクストワン(Next One)」

長崎県立大村高等学校 校長 原 昌 紀

私は、全校集会など生徒の前で話をしますが、私が高校1年生の頃、当時の校長先生の話の中で、世界的な喜劇俳優であるチャールズ・チャップリンにまつわる話がありました。40年以上経った現在も、私の心の中に鮮明に残っている話なので紹介したいと思います。

チャップリンは、1889年イギリスのロンドンに生まれ、貧しい幼少時代を過ごしました。兄の勧めで入ったパントマイム劇団で、アメリカ巡業中にその才能を高く評価され、映画界に入り、後に「街の灯」「モダンタイムズ」「独裁者」「ライムライト」等、次々に大ヒット作を作り出したのです。アメリカ映画界で大成功を収め、地位と名誉を獲得しましたが、その反動による誤解により米国から国外追放となります。栄光と挫折、波乱の時代と厳しい人生の荒波の渦中に投げ込まれながらも、チャップリンは立ち止まらず、次々と名作を作り続けました。

そんなチャップリンに、ある時、新聞記者が次のような質問をしました。「あなたは数々の傑作作品を作り出したが、あなたの最高傑作は何ですか」と。すると彼はこう答えたのです。「Next One(次の作品だ)」。全く予想していなかった答えに、記者たちは呆気にとられ、「過去の作品から最高傑作を探そう」としていた自分たちの考えの浅はかさを大いに反省したそうです。アカデミー賞を受賞し、映画界の頂点まで登り詰めたチャップリンが現在の栄光に満足せず、更に次の高みや新しい目標を目指して生きていこうとする姿勢を貫いたのでした。

チャップリンの言葉―「Next One(次の作品だ)」―高1の時に会って以来、私の支えになっている言葉の一つです。現在、大村高校は140年と長きにわたり積み重ねられてきた伝統の中にも新風を吹き込もうと様々な取組にチャレンジしています。その気概を持った大高生には、何事に対しても更なる高みを目指してほしいと願っています。

文理探究・数理探究科 海外研修旅行&報告会

数理探究科2年生21名は、12月3日(日)～11日(月)の7泊9日でアメリカ合衆国・ネバダ州・ヘンダーソン、ロサンゼルスへの海外修学旅行に行きました。事前に、飛行機での荷物の管理、現地の気候・風土、ホームステイでの過ごしかななどを学習しました。

初日は長崎空港を3日(日)12時に出発し、日付変更線を通り、ロサンゼルス空港には同じ3日(日)9時に到着しました。ラスベガスへの便に乗り継ぎ、昼食、夕食をヘンダーソンで食べる長い1日となりました。

2日目からは受け入れ先のGreen Valley High Schoolでの交流や、授業体験、科学プレゼンの発表に臨みました。生徒たちは予想をしのぐほど現地に溶け込み、高校生やホストファミリーと積極的に英語で話そうとするなど、生き生きとした表情で過ごしていました。6日(水)はグランドキャニオン、8日(金)はロサンゼルスを訪れ、11日(月)に長崎に無事到着しました。

また、1月12日(金)には、文理探究科1年80名に対して2年生がアメリカ研修の成果を発表しました。来年度の研修を控えている1年生には非常に参考になったと思います。来年度からは現1年生がシンガポール・マレーシアを研修場所として予定しております。



修学旅行

12月5日(火)～8日(金)の3泊4日で東京方面への修学旅行に行っていました。事前に生徒には「受容性・想像力をもった集団生活をする事」、「様々なプロフェッショナルを見て学びを深めること」の2点を課題として提示していました。

初日はお台場や浅草、東京ソラマチなど東京を代表する観光地を散策しました。2日目は班別の企業訪問と自主研修を実施。特に企業訪問では各企業に丁寧に対応いただき、事業内容だけでなく、環境保護など社会還元への取り組みについて説明いただきました。3日目は生徒が最も楽しみにしていたディズニーランド研修。世界有数のテーマパークでただ楽しむだけでなく、そこで働く方々の「プロの仕事」を体感できたと思います。最終日のクラス別研修を経て、大きな事故やトラブルなく、無事に長崎へ帰着しました。

十分に目標を達成できた4日間となりましたが、この経験がこれからの高校生活や人生にプラスになることを願っています。



1年 「就業体験」 12/12(火)・13(水)

市内9カ所の事業所(保育園・飲食店など)で2日間就業体験を行いました。仕事をする上での心構えやお客さまへの対応の仕方など普段の授業では学ばないことを体験することができました。「大変だったが、楽しく実習でき、これからの進路選択に役立てていきたい」と意欲をみせていました。



家政科活動

3年 大村小学校授業支援 12/5(火)・7(木)・14(木)

大村小学校5年生が本校に来校し、エプロン製作を行いました。日頃の授業で培ったノウハウを丁寧にわかりやすく小学生に教えました。「最初は小学生に教えることに緊張しましたが、楽しく製作することができました。」とうれしそうに言っていました。



2年 魚調理講習会 12/13(水)

長崎魚市場協会から講師の方をお迎えしてアジとイカのさばき方を教えていただき、自分たちで刺身を作りました。イカのゲソは湯引きして酢味噌でいただきました。初めてさばきましたが、丁寧に教えていただき、「魚をさばくのは難しいと思っていましたが、教えていただきながらさばくと上手にできました。」など家でもやっていきたいと言っていました。



1・3年 「合同調理」 1/10(水)

1年生と3年生と一緒に「ロールケーキ」を作りました。3年生からケーキ作りのコツを伝授してもらい、ふんわりとした美味しいロールケーキができました。

3年 高校生フェス ファッションショー 12/9(土)

10月の五教祭(文化祭)で披露したドレスをコレモおおむらにて多くの皆さんに披露することができました。「緊張しましたが、多くの方に見ていただくことができ、嬉しかったです。」など、感謝の言葉を口にしていました。

RS年度校内マラソン大会

寒波襲来で気温、天候ともに危ぶまれましたが、大会当日は天候晴れ、最高気温10℃と、絶好のコンディションの中スタートを切ることができました。男女とも授業での練習の成果を十分に発揮し、参加生徒全員完走することができました。ゴール後は達成感に満ちた笑顔がいっぱいでした。また、レース後には育友会から豚汁の提供があり、疲れ切った体に染み渡る最高の一杯になったようです。



SSH活動

広島大学附属高等学校との探究活動交流

今年度から本校普通科2年生の2班が、学校設定科目「SS探究ⅡB」の時間に、広島大学附属高等学校の生徒とオンラインで意見交換を行うなど交流を深めています。

広大附属

「高校生におけるきょうだい構成と恋愛観」

「オープンデータを用いた地域創造に関する検証」

大村

「兄弟構成による性格の違い」

「CMを使って長崎を発展させよう」



佐賀大学海洋エネルギー研究所訪問研修

12月7日(木)、佐賀大学海洋エネルギー研究所に、来年度、文理探究科で理数探究(理系)を希望する生徒50名が訪問しました。海洋エネルギーに関する講義、施設見学、海洋温度差発電の発電効率についての測定実験を行いました。



未来デザインイノベーションフェア

12月17日(日)、長崎県内のSSH指定校3校(長崎西・長崎南・大村)の生徒が本校に集まり、日頃の探究活動について、発表を行ったり、討議を行ったりしました。



卒業生表彰

優良生徒表彰

令和5年度長崎県高等学校文化連盟生徒表彰

県総文祭生徒実行委員長 清浦愛良 (2-6)

令和5年度長崎県高等学校文化連盟卒業生顕彰

放送部 新宮美桜 (7)

令和5年度年度全国高等学校体育連盟ボート競技優秀選手表彰

漕艇部 濱邊咲太郎 (3)

令和5年度長崎県高等学校体育連盟団体表彰

漕艇部

令和5年度長崎県高等学校体育連盟生徒表彰

梶崎悠志郎 (2-2)

令和5年度長崎県高等学校体育連盟卒業生顕彰

ソフトテニス部 小林葵 (6)

県優良卒業児童生徒表彰

尾道康太 (4)

生徒会活動功労賞表彰

漕艇部 (5名)

【男子】

濱邊咲太郎 (3)

【女子】

深浦 ゆず (6) 中村 紅葉 (4) 樋口 珠優 (5) 山下 真奈 (5)

ソフトテニス部 (5名)

小林 葵 (6) 狩野 藍音 (5) 村川 梨花 (6)

河原 美咲 (4) 宮沢 幸来 (5)

山岳部クライミング班 (1名)

川添 史龍 (7)

写真部 (1名)

池田 彩 (4)

理科部 (4名)

太田 翔 (1) 市丸 智規 (1) 戸島 菜月 (2) 矢田 樹 (1)

文芸部 (4名)

古賀千奈津 (7) 藤原 佑翼 (6) 和川 ゆめ (8) 浦 瑛祐 (7)

家政科 (1名)

河口ひかり (8)

弁論 (1名)

矢部小羽紅 (4)

生徒会 (4名)

尾道 康太 (4) 本田 梨乃 (3) 野口 荘悟 (4) 久東 和佳 (5)

現在の中学2年生が受検する県立高等学校の

入学者選抜が変わります!

急速な技術の進展により社会が激しく変化し様々な情報を活用しながら課題の発見・解決に結びつけていく能力が求められています!

そこで、①「自らの可能性を高め、自分らしさを育む」

②「探究的な学びを推進する」

③「ふるさとへの愛着や誇りを育む」

を柱に入学者選抜を改善し、多様な学びにつながる入学者選抜にしました!

<大村高校に関する入学者選抜について>

①<特別選抜 検査> 令和7年1月28日(火)

募集定員は、全募集定員の15%以内の範囲で本校が学科別に定員を定めます。

自己推薦①と自己推薦②があります。

②<一般選抜 検査> 令和7年2月18日(火)・19日(水)

検査問題は、基礎的・基本的な問題を中心に思考力・判断力・表現力を検査できるような問題、日常生活・社会問題などに関連した探究的な学びの要素を取り入れた問題(全体の2割程度)が出題されます。

選抜制度については、時期をみて説明会等を開催し、お知らせしていく予定です。

今後も本校ホームページや広報誌等を中心に情報発信を行いますので、定期的にご確認ください。